

西

～にし～

Good News 特集号

■八王子西特別支援学校・町田工業高等学校「教育支援アプリ開発」

東京都教育施策大綱、第2章「東京における教育の在り方」の基軸となる3つの「学び」の一つに「ICTの活用によって、子供たち一人ひとりの力を最大限に伸ばす『学び』（教育×DX）」があります。今年度、八王子西特別支援学校と町田工業高校は、知的障害や発達障害のある児童・生徒の学習を支援するための「教育支援アプリ」を協働して開発する連携協定を締結しました。

町田工業高校では、情報系工業高校の強みを活かし教育支援アプリの開発を情報システム系列の3年生5名が課題研究の授業で行います。5名の生徒は、八王子西特別支援学校を訪問して授業を見学し、児童・生徒が生活で困っていること、特別支援学校の先生からのアプリに対する要望をヒヤリングするなどして、アプリの設計を進めていく計画です。5名の生徒たちは、「自分たちが作ったアプリが特別支援学校の皆さんのお役に立てることが楽しみです。」と意気込んでいます。

八王子西特別支援学校では、「特別支援教育ICT連携プロジェクト」を立ち上げ、町田工業高校が開発したアプリの活用方法について実践・検証するとともに、町田工業高校の生徒にアプリを活用した成果と課題をフィードバックしていきます。連携プロジェクトチームでは、アプリの活用を通して児童・生徒が主体的に学習し、自立と社会参加に向けた「態度」が一層育まれることを期待しています。

「教育支援アプリ」の活用を通して、八王子西特別支援学校の一層の特別支援教育の充実につなげるとともに、町田工業高校の生徒、教員の特別支援教育への理解啓発を推進し、共生社会の実現に寄与する取組となるよう連携していきます。

(八王子西特別支援学校：主幹教諭・添田和久、
町田工業高等学校：主幹教諭・寺島 和彦)



連携協定締結の様子

